

平成31(令和元)年度事業報告書

当法人は、平成31年度の事業として掲げる、

- (1) 流しびな行事の実施に係る事業
- (2) 流しびな行事の文化を広く伝える施設「流しびなの館」の管理運営に係る事業
- (3) 観光客への土産物販売事業
- (4) 観光客の休息のための飲食店営業事業
- (5) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

に則り、諸事業を遂行すると共に、経費のより一層の削減と集客・収入増加へ向けて取り組んだ。

流しびなの館では、マラニック大会、用瀬の月を愛でる会、用瀬町ふれあいまつりなどの地域の行事に積極的に協力し、施設の有効利用に努めた。

尚、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、3月の童謡をうたう会と、3月26日の流しびな行事が中止となり、更に団体客の入館予約も2月は中旬より8件、374人、3月は7件、153人がキャンセルになるなど、入館者が大きく減少した。

特別展示としては、鳥取市民から寄贈された「押絵の人形」の特別展を年間を通して開催した。

また、地元のときわ流しびなの会と連携して、流しびなづくり体験を通年実施し、旅行会社の利用もあって延べ7件、90名の利用があった。

入館者については8割方が県外客であり、1月・2月に読売旅行や農協観光の団体バスツアーが企画され順調に客足が伸びつつあった最中、令和2年1月後半からの新型コロナウイルスの感染拡大の影響で旅行会社からのツアーが軒並みキャンセルされ、更に外出自粛の要請が大都市圏で広範囲に発出されるなど、観光客の減少に拍車がかかり、入館者が軒並み減少した。

観光物産センターにおいては、喫茶のメニューを工夫すると共に、ランチに工夫を重ねて内容をより充実させ、特に地元を含め近隣の利用者に好評を得ている。また2階の和室を利用した食事や法事の会食や弁当等の利用も概ね順調に推移しており、更には食材を工夫して効率よく使用した結果、全般的に収益率が大きく増加した。

尚、喫茶部門においては、原材料をなるべく地元産にして地産地消に心掛け、地元の人が安く安心して利用出来るよう取り組むと共に、衛生面においては職員の安全意識をより一層高め、食中毒等の防止並びに業務上の事故防止に万全を期している。

全体的には、ホームページを積極的に更新し、またフェイスブックを利用したPRも開始し、より充実・活用する事により情報発信が高まり、問い合わせや予約等も多くなり、安定した集客となって来た。

平成31(令和元)年度流しびな行事 実施事業

平成31年度は4月7日の実施と年度2回となる令和2年3月26日の流しびな行事実施へ向け諸準備、ポスター・パンフレットの作成・配布を行ったが、第2回は新型コロナウイルスの感染拡大防止に伴い、3月3日に緊急企画委員会を開催し中止を決定した。

(平成31年度の実施状況 31.4/7)

- 雛飾り公開(10:00~16:00)
町内の家庭で雛祭りの公開。(1軒) ●徳永家
- 流しびな製作実演(10:00~15:00)
流しびなの実演と体験。(2カ所) ●2区公民館 ●流しびなの館
- お茶席(10:00~16:00)
町内で抹茶の接待(有料)。(3カ所)
●観光物産センター ●松風(松島家) ●佐々木ギャラリー(佐々木家)
- 俳句会(10:00~16:00)
投稿箱の設置。(2カ所)
●用瀬郵便局前 ●流しびなの館前
- ひながたり(館)(10:30~11:45)
朗読会「雛がたり」を実施。
- ひな荒らし(5区公民館)(11:00~13:00)
子どもたちの「ひな荒らし」の様子を公開。
- 祈祷神事(ふれあいの水辺)(13:30~13:45)
- ひなのお焚き上げ(15:00~16:00)
祈祷神事と、古い雛人形に感謝の「お焚きあげ」神事を実施。
- ひな流し
市長・流しびなレディーによるひな流し(13:45~)
小学生(13:50~)
園児・幼子(着物で)(14:15~) 参加園児48人
体験希望者(11:00~14:00及び15:00以降)
- 流しびな(さん表)の全戸配布
流しびなの伝承のため、用瀬地域の各家庭に全戸配布。(約300軒)

(令和2年3月26日への準備状況)

流しびなポスター B1判(JR西日本各駅分)330枚、B2判550枚

当日パンフレット 6,500枚 印刷、各方面へ配布

(令和2年3月26日は新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止)

↓

園児・テント村出店者募集、準備品手配を随時実行 → キャンセル手配

平成31(令和元)年度流しびなの館管理運営事業

○常設展示

用瀬ほか各地に伝わる流しびな

江戸時代から現代のひな人形と各種人形 約1,000体の展示

利用者数 11,025人

○特別展示

桐塑人形作家「福岡正子」寄贈作品展(1月4日～4月30日)

期間利用者数 2,902人(4/1～30迄)

「押絵の人形」特別展(11月1日～2月28日)

期間利用者数 1,725人

○利用促進事業

流しびなの製作体験事業の実施。

流しびな製作グループ「常盤流しびな」の指導により、紙雛とさん佻づくりの製作と「ひな流し体験」を実施した。

5月7日	湯梨浜町より	32人
6月27日	加古川市より	30人
7月30日	鳥取市内より	5人
8月15日	韓国より	6人
10月21日	兵庫県より	4人
11月23日	三重県より	3人
3月9日	鳥取市内より	10人
	体験者	計90人

お雛さまエッセイ朗読会の実施。

朗読グループ「雛がたり実行委員会」と連携し、雛祭りにまつわるエッセイの朗読会「雛がたり」を実施した。

流しびなの館ふれあいホールの利用促進。

地元の文化団体等と連携し、主に下記の催しを実施した。

7月7日	鳥取ベンチャーズコンサート	参加者250人
9月23日	用瀬の月を愛でる会	参加者250人
10月22日	ふれあいまつり発表会	参加者100人(ラウンジ・ホール)
3月3日	流しびなの館で童謡を唄う会	参加者300人

平成31(令和元)年度施設利用状況

平成31年度 総利用者数 (流しびな行事 31.4/7) (単位:人)

流しびなの館		観光物産センター	
展示室入館者	10,831	売店利用者数	18,947
ふれあいホール	817	喫茶利用者数	10,923
		休憩室利用者	1,900
小計	11,648	小計	31,770
利用者合計			43,418

業務別 内訳 ① 流しびなの館 (単位:人)

展示室入館者数内訳					
展示室入館者	有料入館者	無料入館者 中学生以下	無料入館者 障がい者等	無料入館者 要介護者等	無料入館者 その他
10,831	4,692	1,631	646	831	3,031
入館料					
1,063,661円					

② 観光物産センター (単位:円)

販 売					
受 託 商 品			買 取 商 品		
受託販売額	精算額	差引手数料	売上額	仕入額	差引収益額
2,321,065	1,653,154	667,911 切手類取扱手数料 34,587	177,118	62,900	114,218

喫 茶		
売上額	原材料費	差引収益額
12,158,129	3,901,032	8,257,097

創作料理「雛ものがたり」利用数 (単位:人)

4月	31	5月	31	6月	6	7月	26	8月	4	9月	36
10月	79	11月	108	12月	31	1月	0	2月	43	3月	95
合計											490

③ 施設利用件数及び人数

流しびなの館ふれあいホール		観光物産センター休憩室		使用料
19件	817人	141件	1,900人	62,750円

会議並びに諸行事

1. 会 議

5月13日	監査会	
5月16日	理事会	平成30年度事業報告並びに決算承認について
5月16日	定時評議員会	平成30年度事業報告並びに決算承認について
6月10日	流しびな実行委員会	反省会
7月9日	理事会	理事長の選任について
11月24日	流しびな企画委員会	
12月19日	理事会	事業団の運営について
1月19日	流しびな実行委員会	
3月3日	緊急流しびな企画委員会	
3月28日	理事会	令和2年度事業計画並びに予算案について 流しびな行事について
3月28日	評議員会	令和2年度事業計画並びに予算案について 流しびな行事について

2. 各種会議・行事・研修その他

4月7日	流しびな行事	約6,000名
5月19日	マラニック大会	館・観光物産センター
6月18～21日	千代南中学校わくわく職場体験	中学生2名受入
7月7日	鳥取ベンチャーズコンサート	ふれあいホール 250名
8月24日	もちがせふれあいフェスティバル	ラーメン出店
9月14日	用瀬の月を愛でる会	館・観光物産センター
9月18日	職員消防訓練実施	
10月19～20日	用瀬町ふれあいまつりステージ発表会・中学校茶席	ふれあいホール・庭園
11月13日	職員健康検診	
3月11日	職員消防訓練実施	
3月26日	流しびな行事新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	

3. 主な取材及び資料等提供先

- 令和1年5月20日ナビタイムジャパン 流しびなの館のPR 東京
- 令和1年5月、鳥取文化財紀行の原稿依頼。主に流しびなの館関係。
- 令和1年5月29日鳥取県観光素材集の一部変更
- 令和1年6月3日るるぶデータベースセンター
- 令和1年8月15日韓国の雑誌「フェスティバル オール」の取材依頼
鳥取県 交流人口拡大本部 観光交流局 国際観光誘客課（金さん）
- 令和1年10月7日ヒューマンアカデミー株式会社 戦略本部 教育ICT推進室
教材制作課菅原里美。日本伝統文化を、その文化を継承する方々の取材を元に映像で学ぶプログラム使用イメージとして これから販売される科目「年中行事」の中で「流し雛」の説明映像として写真を使用
- 令和1年10月26日ナビタイムジャパン データ制作担当 日高 東京都
飲食が中心の雑誌か。ホームページ写真許可
- 令和1年11月29日「おはよう！みるくクラブ」雪印メグミルク株式会社、「祭りの由緒を紐解く旅」（株）ケイ・ライターズクラブ木原担当 東京 22万5000部
- 令和1年FCAJジャーナル 2019.12月号ナンバー139 フードジャーナリスト向笠千恵子さんの評論と、さん俵の画像を紹介。
- 令和1年12月15日 るるぶ観光（JTBパブリッシング ティー・エム・エス）東京
流しびな行事の紹介
- 令和2年1月7日 株式会社ナイスク 出版制作部 鈴木 英里子「伝統行事で日本の四季を学ぶ」企画。出版物を小中学生に 東京
- 令和2年1月27日 令和2年2月15日前後発行予定の雑誌社。Webマガジン「旅色-Tabiiro」の編集協力をしているアワーズの宮さんから依頼。そのサイト中に「テーマのある旅」というページがあり、そこで流しびな行事を紹介する。
- 令和2年1月28日
協同組合インフォメーションテクノロジー関西 流しびな行事の紹介
- 令和2年2月4日県教育旅行ガイドブック、県観連
- 令和2年2月13日県観光連盟「とっとり観光ニュース」流しびな行事のPR
- 令和2年2.22県観連観光素材集別冊お食事処 雛ものがたり中心
- 令和2年2月21日株式会社交通新聞社 「トレたび」の原稿
毛塚 貴康（けづか たかやす）流しびな行事の案内
- 令和2年3月1日 教育画劇 「47都道府県 日本ふるさと絶景ビュー」企画
流しびな行事の子ども向けの冊子編集 大悠社 小野 東京